

服部病院だより

新年号

—地域医療連携室便り—

2020年（令和2年）1月

地域医療連携室

0794-83-5327（直通）

「基本理念」

私たちは、利用していただける方々に最善の医療を尽くすことに努めます。

「基本方針」

1. 地域住民の方との繋がりを大切にします。
2. 患者さんの人格を尊重しつつ、チームで安心・安全な医療の提供に努めます。
3. 予防・医療・介護との継続、かつ、透析医療においてリードする病院をめざします。
4. 医療の専門職として、継続学習と人間性豊かな医療人の育成に努めます。
5. 職員が自主・自律の精神のもと、働きがいのある職場環境をつくりまします。

新春のご挨拶



新年明けましておめでとうございます。本年が地域の皆様や当院にご尽力いただく関係者にとりまして、健やかで素晴らしい一年になることをご祈念申し上げます。日本の出生数は、2019年は90万人を切っています。これに対して亡くなる人の数は130万人を超え、50万人の人口が減少しています。こんな中、高齢化率はどんどん高まり、病院を受診される患者さんも高齢の方が多くなっています。当院では、高齢者の皆様のニーズに対応するために以下のようなことを始めています。

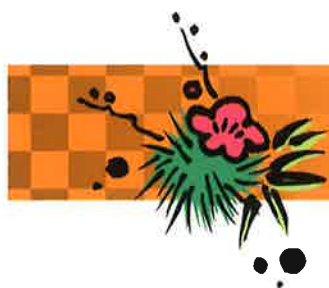
- 1、排尿障害で困っている方が多く、新しく泌尿器科の外来を月曜日に開設しました。高齢になると尿が漏れたり、尿が出にくくなったり、夜中にトイレに行く回数が増えるなど、様々な悩みが増えてきます。是非泌尿器科を受診しご相談ください。
- 2、整形外科に新しく副院長として戸田医師が着任いたしました。膝の痛みや腰の痛み、手足のしびれなど、内服治療やリハビリテーションで効果がない場合は、手術など様々な治療法で対応していきます。
- 3、下肢の静脈瘤や潰瘍の専門医である金澤医師が着任いたしました。長時間立ち仕事をされる方に多い静脈瘤という病気は、放置していると皮膚が黒くなったり、潰瘍ができるようになり、治療が難しい病気です。足がむくんだり、こむら返りを起こしやすい方は静脈の流れが悪くなっています。是非早めの受診をお勧めします。
- 4、回復期リハビリ病棟にリハビリの専門医である田井医師が一月から着任いたしました。リハビリ専門医が医学的治療や管理を行うことで、更に高度で効率良く身体機能の改善が図れる回復期リハビリ病棟になります。

いずれも、年齢を重ねれば増えてくる病気ばかりです。今後とも、地域の方々の医療ニーズに対応し、急性期から回復期、慢性期、さらには特別養護老人ホーム「えびすの郷」とも連携をとって、切れ目のない最善の医療を提供していきたいと思っています。

本年もどうぞ宜しくお願いいたします。



病院長 服部 哲也



新年のご挨拶



新年あけましておめでとうございます。

2020年のスタートです。今年、日本では東京オリンピックという大イベントがありますね。より多くの人々が健康でいろいろなことを楽しめる一年であることを願っています。



女性特有のがんには子宮がんと乳がんがあります。1999年以来、乳がんは女性特有のがんで常に第1位となっており、12人に1人が乳がん罹患するといわれています。また、そのピークは40代後半～60代であり、減少傾向にある生産年齢人口の観点からも、さらなる早期発見・治療の重要性が高まっています。昨年当院では新しい乳房用X線診断装置(マンモグラフィ)が導入され、3D(デジタル・ブレスト・トモシンセシス)機能も搭載しています。3D(デジタル・ブレスト・トモシンセシス)機能とは乳腺の断層画像を得られる機能のことです。これにより乳腺の重なりによりわかりにくかった異常がより分かりやすくなる可能性があります。高濃度乳腺の方にはお勧めです。ご希望の方はマンモグラフィ検診の際にご相談ください。



あらゆる女性に対して敷居の低い婦人科診療を目指しています。

ご相談があれば気軽に婦人科にお越しください。

副院長 婦人科 服部 奈緒

あけましておめでとうございます。今年は子年ということですが、30年以上前に亡くなった父が子年でした。ネズミというのはチョロチョロと動いて落ち着きがないというイメージですが、父のイメージは全然そうではありませんでした。また、大学で研究に没頭していた時期は、多くのマウス実験のために犠牲にしたことが思い起こされます。今思い返すとそれらのネズミはおとなしくてとても可愛かったです。



ネズミにも人の側からみればいいネズミと悪いネズミがいる訳ですが、今年のネズミはいいネズミであることを祈りたいと思います。昨年は一昨年に続いて、地球温暖化の影響かもしれませんが、大雨や台風により水害が各地で発生し、甚大な被害をもたらしました。災害のない良い年でありますように。

副院長 内科 関田 憲一

あけましておめでとうございます。

さて、私は昨年に後期高齢者の仲間入りをしました。といっても名球会入りをしたのではなく、古希や喜寿のような祝いを受けたのでもありません。この世界は制約・規制や負担が増え、人材が削ぎ落とされていき、膚寒い思いをすところだと感じています。しかし、仕事はというと従前通り、いやそれ以上に日々の診療に追いかけれ、走り回っています。

最近よくあることですが、診察終了後“お大事に”と患者さんを送り出そうとすると、“先生もお達者で”とか“いつまでも元気でいてくださいよ”と逆に激励されてしまいます。“何言ってやんでエ、こんにゃろオ”と苦虫を咬みながら“はいはい”と返事をするのですが、この若さに充ち充ちた私のどこがそんな風に見られているのかと不思議でなりません。髪が白くなった、顔に張りがなくなった・・・。不老長寿の薬は要りませんが、若返りの薬なら何としてでも入手したいものです。そこで登場するのが、“走る事”です。子供のように野山を駆け廻る。これが神から人類に与えられた最高の賜です。口八丁、手八丁で口や手を動かす事も老化防止に役立つかもしれませんが、脳の解剖学的構造からみると足が重要です。手の領域は中大脳動脈、足の領域は前大脳動脈からと別々に栄養を受けています。よく見るとなんとこの後者の前方部には前頭極部 area10 があります。巧妙に足を動かすとこの area10 の血流も良くなるのです。ここが働くとモチベーションの向上に繋がり、新しいアイデアが創出されます。創造的な事を考えながら野山を駆け廻る。足を鍛えて脳を若返らせる。今年はこちらにチャレンジしてみませんか。

副院長 脳外科 藤原 潔



あけましておめでとうございます。

昨年の 12 月 1 日から服部病院へ副院長として赴任いたしました戸田 誠と申します。専門は整形外科です。神戸大学医学部卒です。

さて、今年 2020 年は東京オリンピックが開催されますね。

前回、1964 年、当時私は 4 歳でしたが、アジアで初めてのオリンピックが東京で行われてから半世紀あまりの時間が流れたわけですが、その間に医学の進歩もめざましいものがあります。

整形外科は、「骨・関節と脊椎」すなわち運動に関わる「運動器」を扱う医療ですが、その目標は「痛みを軽減して運動機能を改善し、人生を楽しめる生活をおくれるようにする」ということになるのでしょうか。

前回東京オリンピックがおこなわれた 50 数年前と比べてみますと、この目標を達成するための診断と治療において、整形外科の領域では、とりわけ CT や MRI などの画像診断装置の発展や DEXA(骨密度計測のレントゲン)の進歩により、以前とは比べものにならないほど正確な診断ができるようになりました。それに基づいた治療も、たとえば骨折治療での軽くて強いチタン合金などの内固定材料の登場(以前はステンレスでした)や、膝や脊椎手術で内視鏡・関節鏡手術手技・装置の発達による低侵襲手術が可能となったことで、手術の翌日からベッドを離れてリハビリ開始ができるようになって、いわゆる早期離床が可能となっています。

また、私が専門とする膝の人工関節手術においても、従来は摩耗による人工関節の耐用年数が 10 年ぐらいいれ替え手術が必要でしたが、現在では人工素材の進歩により 1 回の手術でほぼ終生入れ替え不要となっています。

今年が皆様方にとりまして良き年となりますようお祈り申し上げます。

副院長 整形外科 戸田 誠



服部病院 外来診療担当医表

診療科	診察受付時間		月	火	水	木	金	土
内科	9:00~12:00	1診	長尾 学	関田憲一	倉本尚樹	那須正道	関田憲一	(※1)小牧遼平 (※2)渡部俊介
		2診	小坂理恵子	那須正道	藤田泰功	荒木 健	北野則和	(※3)上田智朗
	13:00~17:00(予約)		北野則和	那須正道 小坂恵理子	北野則和			
	18:00~20:00		北野則和		那須正道		関田憲一	
外科	9:00~12:00		服部哲也	服部哲也	兼平暁夫	服部哲也	兼平暁夫	金澤成雄
	13:00~18:00					金澤成雄	金澤成雄	
	18:00~20:00		神戸大学	服部哲也	神戸大学	服部哲也	金澤成雄	
整形外科	9:00~12:00		楠 巖	渡邊 秀	工藤健史	戸田 誠	藤田雅広	藤田雅広
	18:00~20:00			戸田 誠		楠 巖	抽冬晃司	
脳神経外科	9:00~11:00		藤原 潔	専門外来	藤原 潔	手術	藤原 潔	
	15:00~17:00		藤原 潔	手術	藤原 潔			
婦人科	9:30~12:00		服部奈緒	服部奈緒		服部奈緒	服部奈緒	服部奈緒
	14:00~17:00(予約)		服部奈緒			服部奈緒	服部奈緒	
泌尿器科	9:00~12:00		樋口彰宏					

・土曜日内科午前診は、※1 小牧医師（神経内科）【5週】 ※2 渡部医師【1、2、3、4週】 ※3 上田医師【1、3、5週】が担当します。（令和2年1月現在）

・脳外科予約以外の方の受付は、9:00~11:00（初診・再診）、15:00~16:00（初診）、15:00~17:00（再診）になります。

★担当医は変更になることがありますのでご了承ください。

★変更になる場合は、各科の診療室前に掲示してありますのでご注意ください。

おいしいお店紹介



Ruban Bleu リュバンブル

TEL: 0794-70-7178

住 所：(株)大林設備工業恵比須ショールーム内
三木市大塚 2丁目 1-37

営 業 日：木・金曜日

営業時間：10:00~17:00



Instagram

最新情報は、インスタグラムをチェック!!

▶▶▶ @ruban.bleu.miki



関連施設

三郎記念クリニック

■ 診療科目：人工透析・内科(腎臓内科)・外科・がんの緩和医療
透析医療専門のクリニックです。経験豊富なスタッフがきめ細やかなサービスを提供します。

〒675-0101 兵庫県加古川市平岡町新在家1350-1
駐車場完備

TEL 079-423-2055 FAX 079-423-1256

服部病院診療科目

内科・腎臓内科・消化器内科・糖尿病内科・外科・心臓血管外科・
脳神経外科・整形外科・婦人科・泌尿器科・リハビリテーション科・
放射線科・人工透析(夜間透析あり)、24時間救急受入体制

医療法人社団 一陽会 服部病院

〒673-0413 兵庫県三木市大塚 218-3

TEL 0794-82-2550 FAX 0794-82-4399

ホームページ

服部病院

検索

<http://www.hattori-hospital.com>

(当誌は、ホームページでもご覧になれます。)